

県域越えリーダー養成



創刊 1946(昭和21)年5月1日

発行所

日本教育新聞社

〒105-8436

東京都港区虎ノ門1-2-8

電話03(5510)7777(大代表)

郵便振替 00150-8-196500

©日本教育新聞社 2017

購読申し込み

03(5510)7828

Eメール kodoku@kyai

ku-press.co.jp

ホームページ

http://www.kyoku

ku-press.co.jp

このマーク

表示のある

記事については、ご愛読

者に限り、ホームページ

上でさらに理解を深める

ための資料を閲覧するこ

とができます。

index

- 1 不合格なら昇給停止?
- 2 大阪市教委が現職教員対象に試験制度創設を検討している。合格しないと昇給停止となる仕組みだ。合格した教員の力を得て、校長・教頭の負担を軽減することが狙いだ。
- 3 教育改革
- 4 5 学校経営
- 6 幼稚園・保育園
- 7 小学校

首都圏公立進学校校長会



英語による自己表現の方法を学んだ事前研修

1都3県の七つの公立進学校の校長で組織する首都圏公立進学校校長会が今夏、留学や海外教育研修事業を手掛ける(株)アイエスエイトと連携し、米国・スタンフォード大学を舞台にした「次世代リーダー養成プログラム」を実施する。進学校が県域を越えスクラムを組んで、グローバル人材育成に取り組むのは珍しい。

7校の高校生 米の名門大で研修

海外教育研修事業に参加するのは、日比谷西(東京)、湘南(神奈川県)、浦和、浦和第一女子(埼玉)、千葉、船橋(千葉)の7校の1~3年生26人。7月21~28日の8日間、世界屈指の名門校スタンフォード大学に滞在し、心理学者のステファン博士によるマインドフルネスをテーマとした特別講義の受講や同大学生との交流の他、カリフォルニア大学バークレー校やシリコンバレーなどを訪問する。

17日の出発式を前に、生徒たちは4日間の国内事前研修に参加。外国人留学生とのディスカッションを通して実践的な英語力やプレゼンテーションスキルを向上させるとともに、自らの研修参加の動機と目指すべきコ

ールを明確にした。首都圏公立進学校校長会は、都県の枠を超えて公立高校の持つ良さを共有、相互に刺激し合い学び合うことを目的として平成24年度に設立。相互交流は校長をはじめとする教員間から英語即興ディベ

ートを通じた生徒間にもまで発展し、今回、全国で初めての合同海外研修が実現した。一昨年スタンフォード大学を視察した宮本久也・都立西高校校長の話を引き継ぎ、今後の人生を考える上で、今後の人生を得てほしいという杉山剛士・浦

宮本校長も「今回の研修は、ステファン博士の講義を柱に、現地でしかできない体験をと、校長会とアイエスエイトで独自に企画した。各校の置かれている状況を超えて全7校から集まった生徒が一つのチームをつくり、互いに刺激し合い、高め合うことで、さらなる相乗効果が生まれることを期待したい」と話している。